

2024年1月18日

各位

**「国立大学法人 京都大学とセトラスホールディングス株式会社との
高機能製品に関する協働開発」の開始について****【概要説明】**

国立大学法人 京都大学（総長 湊 長博 以下 京都大学）と、セトラスホールディングス株式会社（本社 香川県高松市、代表取締役社長 木下幸治 以下、セトラス HD）は、令和6年1月1日（月）付で共同研究契約と学術指導契約を締結し、1月12日（金）に、セトラス HD 本社において、キックオフミーティングを開催し、「革新的な高機能製品に関する協働開発」を開始しましたのでお知らせ致します。

本協働では、セトラス HD が保有する無機材料に関する独自技術と、京都大学が保有するナノ粒子材料の最先端の修飾技術との融合によるイノベーションを、オーダーメイド型の高機能製品に応用し、次々に上市することを目指します。また、本協働により生まれたイノベーションを新事業に繋ぎ、本邦の産業力の強化に貢献します。一方、京都大学の若手教員・大学院生と、セトラス HD の若手研究員との人的交流がバリアフリーで可能な共同研究ラボの構築を予定しており、両機関の若手人材の育成にも貢献します。

セトラス HD グループの一翼である協和化学工業は、これまで独自技術によりマグネシウム化合物の事業化・製品化で世界を牽引してきました。例えば、環境負荷の低い非ハロゲン系難燃剤の水酸化マグネシウム、世界初の量産化に成功した合成ハイドロタルサイト、並びに制酸剤や緩下剤として有効なマグネシウム製剤の上市など、様々な高機能製品を世の中に提供しています。

近藤輝幸教授（京都大学 大学院工学研究科 物質エネルギー化学専攻）は、早くから有機金属化学および固体触媒を用いる数多くの革新的有機合成反応を実現し、その後、京都大学の医工融合研究・教育プロジェクトを牽引し、先端医工学研究室を立ち上げました。現在は、生体イメージング分野において、画像診断と治療を同時に実現するセラノスティクスプローブの開発で世界をリードしています。

京都大学およびセトラスHDの強力な協働体制を構築し、社会的要請に応える新規無機材料の創出を加速します。具体的には、高速伝送化のトレンドに沿って必要となる新規高機能材の製品化ならびに医療用基材の開発に注力します。本協働により、持続的かつ発展的な研究開発、新規事業の創出、人材育成の分野で相互に協力し、双方の連携による研究成果を製品開発に活かす好循環を社会に還元することを目指します。今般、その取り組みを開始しました。

ご質問等ございましたら、下記へのお問い合わせをお願い申し上げます。

以上

お問い合わせ先

セトラスホールディングス株式会社 広報室

TEL : 087-826-6610 FAX : 087-826-6616 E-mail : press@setolas.co.jp